

新病院建築ニュース

平成 28 年春開院

善衆会病院は、50 年先を見据えた医療を提供していきます。その第 1 歩として、平成 28 年には新病院を新築オープンさせます。まずは、この先 10 年の変化に対応すべく、環境に配慮し、高度な医療設備をもとに、新たな地域の診療拠点としての重責を担います。



image

Vol.5 -2015.8.10 発行-

新病院における泌尿器科の役割

泌尿器科は、【上毛泌尿器科病院】開設以来、この地域の泌尿器科診療の必要に応えるべく、すべての泌尿器科疾患に対して診断、治療をおこなってきました。新病院に移行しても、基本的な診療方針は変更せず、地域に根ざした診療を行ってまいります。

[尿路結石治療のさらなる充実] 《体外衝撃波破碎装置の新機種を導入》

体外衝撃波結石破碎術（以下 ESWL）は、1980 年にドイツで開発されました。当院ではこの初代（ドルニエ社製）ESWL 装置を 1985 年に北関東信越地域で初めて導入し、以来 30 年トップランナーとして約 10,000 件の結石治療を行ってきました。

2015 年 6 月、当院としては 3 台目となる最新型 ESWL 装置を導入し、ESWL の有用性のさらなる向上を目指しています。

また、内視鏡による治療もレーザー破石装置を導入し、結石治療の充実を計っています。

腎臓、膀胱、前立腺、尿管など泌尿器科に関することで、お困り・お悩みのことがございましたら、お気軽にご相談ください。



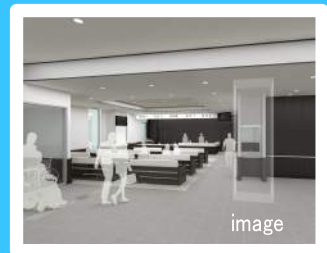
実際に最新機器 (Gemini) を操っている
善衆会病院 副院長 泌尿器科 真下 透

新病院のデータ

[所在地]	前橋市筑井町 54-1
[階層]	地上 6 階立て
[病床数]	198 床
[敷地面積]	18,270.82 ㎡
[延床面積]	13,573.60 ㎡
[駐車台数]	600 台



image



image

新病院建築進捗状況

7月17日現在、3階の躯体工事を行っています。

航空写真を見ると、6工区ある3階躯体のうち、3工区目（中央部分）のコンクリート打設を行っています。（赤いブームがコンクリートポンプ車です）

1階の室内に見えている柱と梁のコンクリートが固まり、押さえていた型枠が取り外されました。今はまだ間仕切りもなく、広々とした空間です。

病室環境は、モックアップによる細かい検証を重ねています。看護スタッフをはじめ、医師やコメディカルなど多くの病院スタッフが、業務の合間に建築現場へ出向き、チェックを行っています。



7月10日撮影。現場事務所（南東）から見た、3階の躯体施工状況です。



1階の型枠解体作業が完了しました。この場所は、エントランスホールから総合受付をみた写真です。



個室病床のモックアップ一部。角を利用することで無駄なくスペースを使えるように工夫しています。

【3階床の工事を詳しく見てみると・・・】



航空写真で見ると、3階の床部分が見えてきました。



←4階の梁筋を地上で組み立てます。



→スラブ配筋と段差枠を組み立て、コンクリート打設の準備を行っています。

新病院建設スケジュール

平成 26 年				平成 27 年												平成 28 年			
11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月		
準備・仮設工事		土工事		基礎躯体工事		埋戻		本館棟地上躯体工事						内装仕上げ工事				竣工	
着工								付属棟基礎		本館棟内装工事						各種検査			
								病室モデル		外装工事(タイル・吹付け・シーリング)						外構工事			